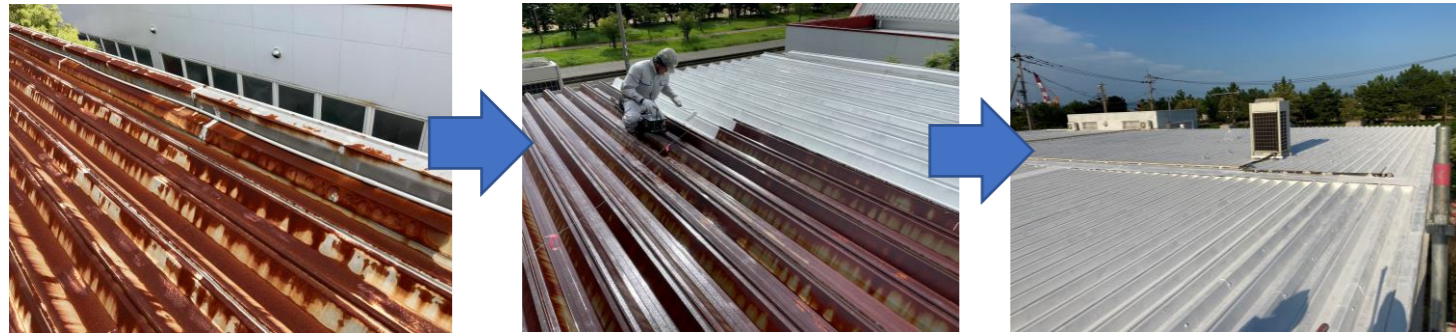


施工前・清掃・4種ケレン

4種ケレン、養生なし、錆閉塞  
錆止めコート1回目

錆止めコート2回目



施工前

施工後



大幅な作業時間の短縮・超耐候性防さびコート「ラストメート」の魅力

強力な密着力と浸透力で錆と一体化・超耐候性防さび・防水機能

1、下地処理の簡略化

現場で仕事をしている作業者の一番嫌がる仕事のひとつが、錆を電動工具等で除去する仕事ですが、長時間に及ぶ装置の音に起因する難聴、手指や腕に来る振動（白蠟病）、除去された錆の噴煙（呼吸疾患）等、厳しい肉体的負荷による職業病が多々あります。また錆のけレン作業による飛散により近隣からのクレームも大きな問題です。しかしながら錆除去が出来なければ、これまでは塗装が出来ません。大がかりな養生が必要となり、コストもかかります。その結果として、コストが掛かって錆除去が出来ず後回し工事となり、当然の事として設備は老朽化し、工事に取り掛かって莫大な経費が掛かる事になり、当初に企画したライフサイクルコストが大きく狂い、経営に多大な損害を与えた例は枚挙に暇がありません。各地に点在する大小のコンビナートは全て物流の観点から海岸に位置しています。当然塩害があり錆が一番の敵となっていますが、企業の規模を問わず、優先順位に従って工事を行って行き、重要度の低い設備は錆び放題となり、景観上も問題となっても、錆を除去するコストを考えると、後回しとなるのが通例です。以上の原因は、錆の上から塗装してもすぐに剥げるから無駄、という経験則からです。今回、それを打ち破る塗料が生まれた、と言う事になります。

2. 塗り重ね回数の減少

通常折板屋根でサビで2種ケレン3種ケレンが必要な場合、養生及びケレンに多くのコストと日数がかかり、さらにさび止め、シーラー、ウレタン塗装2回と6工程がかかります。さらに10年毎にトップコートの塗り替えが必要となります。これに対し、新設では、1回塗装で、錆の発生している状況でも種ケレンで、浸透性による黒さび化と、下地強密着、2回目で長期防さびの「ラストシールド」になります。トップに超耐候性脂肪族遮熱シールドPuをコートすることで、完全防水機能を果たし、錆の発生を抑えるため、10年の防錆保証と20年以上の遮熱性能を実現します。従来の重防食は、大体4~5回塗り位になるため、その間の足場代など、人件費など、莫大な経費が削減されます。

3. 工期短縮と工程管理の簡略化と大幅なコストダウン、さらに省エネ対策

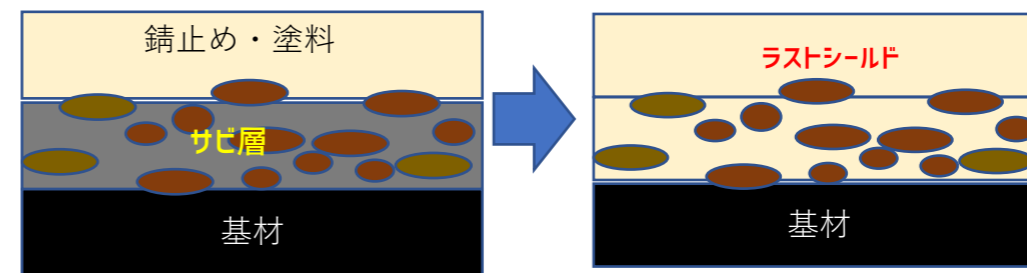
当然のことながら、4回塗装が1回もしくは2回となれば、その工程管理に要する現場スタッフ、現場事務所の維持費も半減します。

業界初、補修対象；4種ケレン、養生なし、錆の上から防錆、遮熱コート 1㎡6000円

折板屋根・屋上、外装

- 施工工程
- 1、ラストシールド・・・浸透性防さび、防水コート
  - 2、ラストシールド・・・閉塞性防錆、遮熱コート
  - 3、遮熱シールドPu・・・遮熱、超耐候性20年～
  - 4、スーパーガラスバリア・・・防汚、美観維持、遮熱性能維持

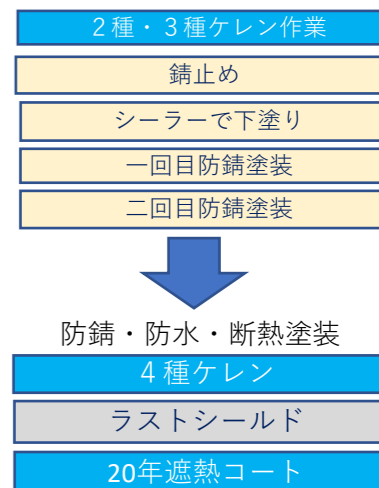
- 1、硬化時間が早い。(2時間)
- 2、金属、非金属、コンクリート、プラスチック、木材、プライマーなしで強力密着。一回塗りでの施工工程のため、大幅時間、効率短縮。軽くサンドペーパーで目粗しすると 強力密着。
- 3、錆の上から塗装可能、さび落とし、ケレン作業の大幅省略。チョーク化した、劣化塗膜の上からでも塗装可能。
- 4、塗装面が固く、平滑で汚れが付着しにくい。
- 5、曲げや衝撃に強い。塗膜下層は弾性があり、曲げや衝撃に強い。表面は超高度。
- 6、10年以上の耐候性。基材との結合力が強く、塗装10年経過後でも剥離なし。
- 7、接着力が強く、防錆力に優れ、クラックの補修材としても最適。錆と一体化して、浸透、固着、長期に錆を閉塞し、錆の進行を防ぐ。
- 8、耐塩害性、耐薬品性にすぐれ、車のシャシーや機器類の錆防止に最適。



サビの上に塗料が乗っている状態。サビの層は、塗膜のピンホールから侵入する水分や空気の通路となり、錆が成長して塗膜を破り表面に錆が現れる。防水機能が弱いため、層間剥離が起きやすい、

ラストシールドは錆に強力浸透し一体化して、基材に強力に密着し防水機能で錆の増殖を防ぎます。サビてる場合でも、養生なし、ケレンなしで、錆の上からコートできるため、大幅に工程を減らすことができます。

通常の錆取り、防錆塗装



施工前

施工後



施工前

施工後

